



独立行政法人 国立病院機構
三重中央医療センター
 NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION MIE CHUO MEDICAL CENTER

平成25年1月
 第54号
 (通巻100号)

三重中央だより

当院の理念 (Principle)

いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心して質の高い医療を行います。

病院機能評価の認定

当院は日本医療機能評価機構(Ver.6.0)の認定を受けております。

発行所：三重中央医療センター

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.hosp.go.jp/nmch>

院長 森 本 保

患者さまの「権利」

私たちは、患者様が安心して医療を受けられるように、患者さまの権利を尊重します。

1. 良質の医療を受ける権利があります。
2. 選択の自由の権利があります。
3. 自己決定する権利があります。
4. いかなる状態であっても人格的に応接され、その生を全うする権利があります。
5. 情報を得る権利があります。
6. 個人情報の機密が保護される権利があります。
7. 尊厳を得る権利があります。

患者さまへの「お願い」

患者さまも、当院職員とより良い信頼関係を築き、安全で満足のいく医療を受けて頂きますために、以下の点をお守り下さい。

1. 身体的、精神的状態や変化など診療に必要な情報を正確に伝えてください。
2. 診療上の指示には従ってください。
3. 大声を出したり、暴力を振るうなど他の人に迷惑になることはしないでください。
4. 酒類の持ち込みと飲酒の禁止及び敷地内の禁煙は守ってください。
5. その他、病院の規則を遵守してください。



新年のご挨拶



独立行政法人国立病院機構
 三重中央医療センター

院長 森 本 保

新年を迎え何よりもまずは大きな災害のない穏やかな一年となることを祈るとともに、早や二年を経過しようとする東日本大震災および福島原発

事故からの復興が大きく加速する年となるよう祈願いたします。混迷続きであった政治状況においても内政、外交両面において安定した、明るい展

望が見える舵取りを願うばかりです。昨年末にスタートした「社会保障制度改革国民会議」では医療や介護などの将来像が検討されることになりましたが、これからの政治状況に左右されない会議の運営を進めていく姿勢が強調されているようですので注目していきたいと思います。多くの国民が安心かつ納得する、現実的な将来像を示して欲しいものです。

今年の診療報酬および介護報酬の同時改定は大方の予想どおり急性期医療から在宅医療まで医療施設の機能分化と連携の推進、さらに医療と介護の連携を促進させる意図に沿ったもので今後もその流れに変わりはないものと思われま。地域の病院、医院をはじめ多くの医療福祉施設等とのさらなる緊密な連携に一層の努力をしなければならぬと考えます。事ある毎に申し上げておりますが、医療施設の努力だけでは望ましい連携は実現しません。主役である患者さんや住民の皆様のご理解と参加があって成果が得られるものと考えます。そのためにもぜひ皆様あるいはご家庭の「かかりつけ医」を持っていただくことをお勧めすると共にお願い申し上げます。

当院に目を向ければ大きな関心事が国立病院機構の新法人への移行です。昨年の1月に閣議決定がなされ平成26年4月に「固有の根拠法に基づく新たな法人」となるとのことで、現在「国立病院及び労災病院の新しい法人制度に関する検討会」で具体化が進められているところであり今後の進展を注視しております。診療事業については国からの特段の援助や補助金等の支援を受けていない

ことを誇りとし、国の担うべき政策医療や医療計画の推進、地域医療への貢献という使命を職員皆が認識し、これまで以上に果たしていきたいと考えています。認定を頂いている地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターとして期待された役割、使命を果たすべく診療機能のさらなる充実に取り組みます。一昨年の秋から導入準備に取り組んだ電子カルテはほぼ計画どおり昨年3月12日に稼働しました。大きなシステム上のトラブルは無く稼働しておりますが、運用面での課題もありますので改善への取り組みを続けます。今年のがん治療の柱の一つである放射線治療装置のより精緻な装置への更新を計画しております。更新後はより多くの患者さんに利用していただけることとなります。工事期間の間は当院での放射線治療が出来なくなり患者さんにはご心配とご迷惑をかけますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様にとって良き一年となりますようお祈り申し上げます。

平成25年1月



看護部より



東6病棟

看護の紹介



東6病棟 看護師長 石川 直子

東6病棟は脳神経外科、神経内科の50床の病棟です。20から30歳代のスタッフが8割を超え優しさと活気にあふれる病棟です。

当病棟は、脳卒中（脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血）脳腫瘍、外傷、脳変性疾患、脊椎疾患の方が入院されています。

毎週月、水は手術日、火、木は脳血管撮影、脊椎造影検査を行っています。理学療法士とは毎週水曜日にリハビリカンファレンスを行い疾患、症状、リハビリ計画について情報を共有し治療、看護に役立てています。病棟担当薬剤師は、患者様の持参薬管理や薬剤指導の役割を担い薬物療法が正しく行えるように医師、看護師と協働しています。

脳卒中は突然の発症で様々な障害が出現します。急性期では全身状態も安定しないため五感を活かし日々のわずかな変化に気付く観察力を身に付け異常の早期発見に努めています。急性期治療により症状改善し自宅へ退院できる方も見えますが、意識障害・運動感覚麻痺・言語障害・嚥下障害・高次機能障害等が残る患者様もいます。

私たちは、急性期より退院後自立した生活が送れるように生活の再構築を目指し早期リハビリ、退院支援に取り組む努力をしています。入院中の日常生活（食事、排泄、清拭、入浴介助、車椅子

の移乗等)一つひとつの動作にじっくりと関わり、ちょっとした環境調整、離床における援助方法の統一で患者様の潜在能力を引き出し、リハビリ意欲の向上が維持できるように働きかけています。

健康な人にとっては当たり前のことでも患者様にとっては一つひとつが大きな進歩です。

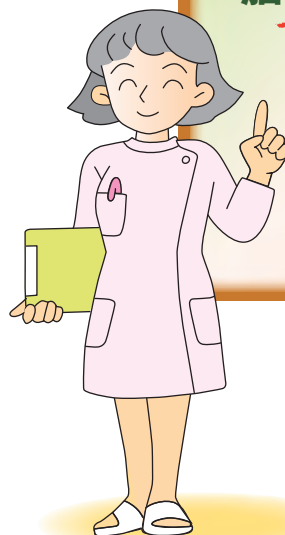
看護援助によって患者様が回復していく姿を見ることは患者、家族様と同様に看護師の喜びであり仕事のやりがいに繋がっています。

今後も患者、家族様の話をじっくりと聴き早期に信頼関係を築き安心、安全で心に寄り添った看護が提供できるように日々努力していきたいと思っています。

脳卒中予防の為に

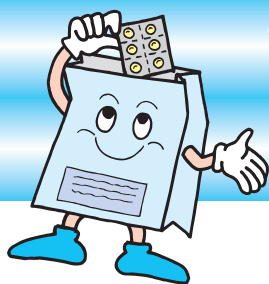
- ① 禁 煙
- ② 減 塩
- ③ 減量(適正体重)

を心がけて下さい。



〈薬の話〉

ご存知ですか薬薬連携



薬剤科長 犬飼直也

普段より薬の重複や飲み合わせ、副作用などについては、病院、診療所や保険調剤薬局等の各医療機関の薬剤師がチェックしていますが、処方箋、お薬手帳シールの限られた情報だけでは不足である場合があります。病院では病態を中心とした入院中の状況などを、保険調剤薬局では皆様の生活に密着した情報を持っています。そこで各医療機関の薬剤師同士が連絡を取ればお互いに得意とする情報が共有でき、皆様に、より一貫した適切なアドバイスが可能となります。各医療機関の薬剤師が行うこの様な活動や、普段より勉強会や会議等での意見交換を通して連絡を密に取ることを薬薬連携と言っています。

病気かなと思っけていても病院などに行く時間的余裕がない場合、近くの薬局やドラッグストアで市販薬を購入されることがあると思います。薬局の薬剤師と相談して診察を勧められた方もいるでしょう。病院、診療所に受診すると大半は院外処方せんが発行されますが中には入院となる方もいるでしょう。その場合は病院内の薬局でお薬が調剤されます。街の薬局等で購入した薬、院外処方せんで受け取った薬、入院中に服用した薬、眼科、耳鼻科など近医での薬があった場合、本当に全部

服用してよいのか、飲み合わせとか無いのか、薬を飲んでから気になることがあるなど不安に思ったことはありませんか。市販の胃薬、かぜ薬やサプリメント程度なら一緒に飲んでも問題ない、とご自身で判断されていませんか。そんな時は専門家である薬剤師に相談して下さい。

薬剤師は皆様のことを考え、お薬手帳を連絡帳として安心安全な治療を確保するために、治療に大切な情報を記載するよう工夫しています。場合によっては医師とも協議します。

この様に地域内の医療機関が連携することにより、皆様がどこでも必要なサービスを受けられることにつながるので、不安に思われることなく治療に専念できます。従ってお薬手帳には市販薬やサプリメントも記入することをお勧めします。かかりつけ薬局、病院、診療所等の各医療機関に提示するようにしましょう、そして普段から携行することをお勧めします。私たちの病院では、薬薬連携を通して地域の薬剤師と共に定期的な勉強会や会議を開き、新薬等の最新情報や調剤方法などを確認し、災害時の協力なども通して皆様の健康管理にお役に立つ活動ができるよう努めています。



2012年

クリスマス コンサート

を開催して



三重中央医療センター附属三重中央看護学校

2年生 文化体育委員長 政岡香澄

平成24年12月6日（木）、病院エントランスホールにて、一足早いクリスマスコンサートを開催しました。

このコンサートをとおり、少しでも患者さま、ご家族の方々に季節感を味わっていただき、気分転換の機会になればと願い、ダンスや合唱、手話部の発表、ハンドベル演奏などを披露しました。今回はエントランスホールを埋め尽くすほど、たくさんの方々にお越しいただき、とても嬉しく思いました。

出し物を披露しているとき、会場に目を向けると、私たちと一緒に口ずさんだり、手話に合わせてくださっている方々もいらっしゃり、パンフレットを眺めながら「生きる勇気をもらうわ」と言ってくくださった方もいました。

このような患者さま方の笑顔や一言は私たちの励みになり、逆に元気をいただけた思いです。

今回、たくさんの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。また、ご協力いただいた病院関係者の皆さま、ありがとうございました。

患者さま方の一日も早いご快復を、学生自治会一同、心よりお祈り申し上げます。



2012年クリスマス コンサート



多くの患者さま方にご来場いただきました



サンタクロースの衣装で…。



1・2年生 総勢 161 名が参加しました。



●●● 三重中央医療センター—連携医療機関紹介 ●●●●●

奥田 医 院



旧津市の南の方に位置する当院は、久居に近いこともあり、三重中央医療センターの先生方には日頃より大変お世話になり、ご指導を頂いております。この場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。

私は平成2年に三重大学の第二外科教室に入局し、消化器外科と小児外科を中心に学んできました。平成10年、父が昭和46年に開業した津市半田の奥田医院を継承し、今に至っております。先代の父も元気で第二の人生の仕事をいただいていたと聞いております。

久居東鷹跡の奥田医院とは、院名が全く同じですが無関係です。しかし院長の山本先生は同じ医局の先輩で、山本先生の医師としての技量は言うまでもなく、とても温かいお人柄を尊敬し、今も懇意にいただいております。

勤務医時代は外科を専攻してきましたが、桑名、いなべ、鈴鹿、伊賀など地方の病院で救急医療や一般診療の経験も積んできました。とはいうものの、これが専門というものも特に誇るものもなく、現在た

だの町医者です。

当院は、0才の赤ちゃんから、ご高齢の方まで地域の方が気楽に通っていただけるアットホームな診療所です。両親も津の出身、私も津で生まれ育ち、患者さんの中には、自分を子供の頃から知っている方も多く、診察室ではお互いに言いたいことを言い合っています。

診療内容は高血圧、糖尿病などの慢性疾患、風邪など急性感染症、一般検診、健康相談、予防接種などです。また当院は基本的に院内でお薬を処方しており、目の届く範囲で診療が完結するよう考えております。

医院の建物は、築35年と古いもので、お世辞にも綺麗とは言えず、キレイズキの私としては大変不本意ですが、あちこち直しながら古さと手作りの良さを、なんとか出していこうと思案中です。

私生活では、5年前に同級生だった整形外科医の夫を42歳の年に病気で亡くしました。1980年代、私が学生の頃、先輩の医師達は今よりもっと厳しく、私が外科系を目指していたこともあり「仕事は最優先、親の死に目にも会えると思うな。」とおっしゃる先生もありました。その教えを長いあいだ守ってきたつもりでしたが、私は今、医師である前に、夫の残してくれた小さな家族の良き母でありたいと考えています。しかしながら、通ってくださる患者さんにとって、多くの場合、私はたった一人の主治医です。それを心に留め、診療時間には、誠実に患者さんと向き合い、できる限りの力を尽くそうと思っております。

院 長：日沖 明子
住 所：〒514-0823 津市半田1481-2
電 話：059-225-6488 Fax：059-225-6494
診療科目：内科
休 診 日：木曜午後・日曜・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	×
15：00～18：30	○	○	○	×	○	△	×

△は15：00～17：00まで

関口 整 形 外 科



場所は県道久居美杉線沿い、一志町とことめの里南側にあります。周辺は里山の風景そのもので夏にはひまわり、秋にはコスモスの花畑が広がります。



院長は三重大学卒業後、静岡市立静岡病院、鈴鹿回生病院、旧国立津病院、亀山医療センターに勤務しておりました。開設して10年です。

診療対象疾患は腰痛、肩こり、関節痛、骨粗鬆症、手足のしびれ、小外傷などです。この中で、特に専門と呼べる

分野はございませんが、一人一人の患者さんに向きあう、[丁寧な診療]、これを日々の指針として努めております。

連携について申し上げますと、手術療法を必要とする時はもちろん、手術まで至らなくても、診断や治療方法選択に難渋する時にも三重中央医療センターの先生方には常々相談し、指導していただいております。

忙しい先生方や患者さんの利便が少しでも図れるよう、当院にできることをひとつひとつ行っていきたいと思っております。

小さな診療所です、気軽に来院してください。

院 長：関口 章司
診療科目：整形外科、リウマチ科 リハビリテーション科
住 所：〒515-2521 津市一志町井関117-1
電 話：059-295-0707 FAX：059-295-0708
休 診 日：木曜午後、土曜午後、日曜祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
8：30～12：00	○	○	○	○	○	○
15：30～18：00	○	○	○	/	○	/

津田クリニック

ホームページアドレス：<http://www.m-tsuda.com/>



当院は、近鉄久居駅に隣接するポルタひさいの2階と3階にあります。

平成10年に開院し、内科と神経内科を中心に診療を行っています。

「神経内科」を「心療内科」と間違われる患者様がいますが、「神経内科」とは、脳・脊髄・末梢神経・筋肉などに起きる病気を治療するところです。脳神経外科や整形外科的な病気を内科的に（手術などしないで）治療すると考えていただいてもいいと思います。大きく違うのは、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病は、神経内科独自の領域であるということです。

当院では様々な疾患に対応するため、種々の検査機器を揃えています。

MRI・CT・レントゲン撮影。また、脳波検査・神経伝道速度・エコー・心電図・ホルター心電図・スパイロメータ・眼底カメ

ラ・睡眠時無呼吸検査・重心動揺検査・位相差顕微鏡検査・サーモグラフィー・エルゴメーター・骨密度測定などがあります。検査機器については、当院のみならず市内の先生方にもご利用いただけるように対応しています。ご利用を希望される場合はいつでもご連絡ください。

また、携帯電話からご自分の病名・検査結果・薬の内容等を確認できる「もばかるて」の開発を行い、沢山の患者様にご利用いただいています。気になる採血結果が翌日に携帯電話で確認でき、他科受診した際にも治療情報を速やかに伝えることが出来るなど、大変重宝がられています。

今年が開院15年目になりますが、今まで支えてくださった患者様、医療機関の皆様にご心から感謝すると共に、これからも院長はじめ、放射線技師、臨床検査技師、看護師、ケアマネージャ、認知症ケア指導管理士、事務員が力を合わせて、患者様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。

院長：津田 光徳
診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
住所：〒514-1118 津市久居新町3006
ポルタひさい2・3F
電話：059-259-1212 FAX：059-259-1213
休診日：木曜日・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～14：00	○	○	○	×	○	△	×
15：30～18：00	○	○	○	×	○	▲	×

△ 9：00～12：00 ▲ 13：00～16：00

山本皮膚科



三重大学卒業後、川崎市市立病院、三重大学に勤務して開業致しました。

当院は、松菱より松阪方面に約900mの23号線沿いにあります。

開業以来、時に患者様に「どこの部位までが皮膚科な

の？」と尋ねられることがあります。

『どんな姿勢でも、鏡を使ってでもいいので自分の目で見えるところは皮膚科へ。自分で見えなければそれぞれの科へ』と答えています。

皮膚科が診察できる部位でも他科の先生に依頼したほうが良いと思うことも多々ありますので、三重中央医療センター及び患者様の地域の各科の先生方に、御紹介させていただいております。

今後共、三重中央医療センターとの連携を深め地域医療に貢献したいと思っております。

宜しくお願い致します。

院長：山本 須賀子
住所：〒514-0832 津市南中央5-11
電話：059-228-9856
休診日：木曜、日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～13：00	○	○	○	×	○	○	×
15：00～18：00	○	○	○	×	○	○	×



外来診療担当表

平成25年1月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	備考
初診内科 (初診・ 予約外)	1診	長谷川【消】	大本【呼】	北村【循】	田中(剛)【糖】	川崎【循】	*初診及び紹介患者様は、総合内科で診察いたします。
	2診	井端【呼】	中久木【循】	竹内【消】	田中(淳)【循】	後藤【糖】	
	3診	新谷(卓)【循】	奥田	藤本【呼】	渡邊【消】	亀井【消】	
	4診	中谷【循】	子日【消】	田口【消】	甲斐【リウ】	西井【呼】	
再診内科 (予約のみ)	呼吸器科	4診			井端(午後再診)		
	循環器科	5診	田中(淳)	川崎	新谷(宇)	中久木	北村
	呼吸器科	6診	藤本	井端	井端	大本	大本
	消化器科	7診	子日	亀井	渡邊	長谷川	竹内
	内科	8診	甲斐【リウ】	新谷(卓)【循】	後藤	田口【消】	甲斐【リウ】
		9診	中久木【循】	田中(剛)	田中(剛)	田中(崇)	田中(剛)
		10診	後藤	加藤【消】	西井【呼】		
	神経内科	1診	北川(初診)	川名(予約のみ)	北川(初診)	川名(初診)	北川(予約のみ)
		2診	吉丸 (ものわずれ外来)				吉丸(初診)
	小児科	午前	1診	井戸	NICUフォロー	井戸	NICUフォロー
2診			NICUフォロー	NICUフォロー	山川(予約)	NICUフォロー	
3診				山本(初)	山本初(予約)	井戸	
午後		1診	田中(予約)	乳児検診		NICUフォロー	予防接種
		2診	NICUフォロー	2週間・1ヶ月検診	山川(予約)	NICUフォロー	
		3診	NICUフォロー		山本初(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)
外科	1診	横井	谷川	横井	信岡	谷川	
	2診	草深		武内			
整形外科* (予約・ 紹介のみ)	1診	リウマチ外来 小川		小川		リウマチ外来 小川(予約のみ)	*初診及び再来初診の患者様は紹介状が必要です。 *火、木曜日の診療は休診中です。
	2診	田中(雅)	*浅沼 (休診中)	田中(雅)	*浅沼 (休診中)	長倉	
	3診	長倉		三浦(良)		三浦(良)	
脳神経外科	1診		霜坂	三浦(洋)	霜坂	石田	*水曜日の2診は第1・3・5週は霜坂医師、第2・4週は石田医師の担当となります。
	2診		石田	*霜坂・石田 (予約のみ)	種村	霜坂 (予約のみ)	
脊椎・脊髄外科			*水野				*診療時間は10:00～14:00までとなります。
呼吸器外科			安達		樽川	安達	
心臓血管外科		森本		佐藤	ペースメーカー	日置	
皮膚科*(予約のみ)		中西		中西	中西	中西	*当面の間、予約のみとなります。
泌尿器科	1診		加藤	*加藤(初診)	加藤	加藤(初診)	*水曜日の初診及び再来初診の受付時間は8:30～10:00までとなります。
	2診		三木(初診)	三木	三木(初診)	三木	
産科・婦人科	午前	1診	前田	前川	前田	澤木	前川
		2診	澤木	日下	吉村	吉村	日下
		3診	紀平	プレママ外来	西岡	紀平 プレママ外来	プレママ外来
	午後	おっぱい外来(予約)	おっぱい外来(予約)		おっぱい外来(予約)		
眼科*(予約・紹介のみ)		久瀬		*久瀬	久瀬	久瀬	*初診及び再来初診の患者様は紹介状が必要です。 *水曜日の受付時間は8:30～10:30までとなります。
耳鼻咽喉科	午前(初診)			*伊藤	*伊藤		*初診の受付は水、木曜日となります。 *水曜日の受付時間は8:30～10:00までとなります。
	午前(予約のみ)		伊藤			伊藤	
	午後(予約のみ)		中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田	奥田	奥田	奥田	奥田	
リハビリテーション科		浅沼	田中(雅)	浅沼	小川	浅沼	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬	柳瀬	柳瀬	柳瀬	*柳瀬	*金曜日の第2・4週は予約のみの診療。
看護外来(予約のみ)				糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。*医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。